

RTR-500NW / 500AW できること

RTR-500NW / 500AW は、LAN 通信機能を搭載している親機です。ネットワークを介して定期的の子機の記録データや現在値を吸い上げたり、記録データや現在値情報を E メールやネットワークへ送信したりすることができます。



株式会社 ティアンドデイ

© Copyright T&D Corporation. All rights reserved. 2017. 07 16507060071 (第 7 版)
https://www.tandd.co.jp/

準備をしよう

ソフトウェアをインストールする前に親機をパソコンに接続しないでください

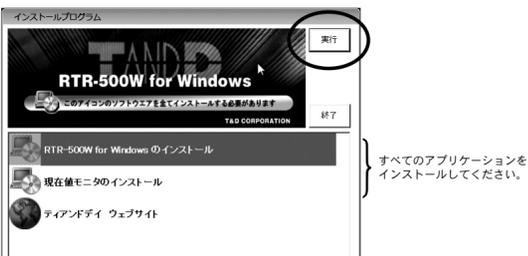
STEP 1 パソコンにソフトウェアをインストールする

- Windows を起動し、Administrator (管理者) 権限でログインします。
- CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。
- [インストールプログラム] ウィンドウが開きます。

[自動再生] ウィンドウが表示された場合
[start.exe の実行] をクリックしてください。

[インストールプログラム] ウィンドウが自動で表示されない場合
CD/DVD ドライブ内の [start.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

- [RTR-500W for Windows のインストール] を選択し、[実行] ボタンをクリックしてください。



- 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください。

インストールの途中で、以下のような画面が表示された場合、[インストール] ボタンをクリックしてください。



- インストールの完了後、Windows のスタートメニューに "RTR-500W for Windows" が登録されます。
- 手順 4. に戻り、残りのアプリケーションを全てインストールしてください。

STEP 2 パソコンに親機を接続する

- スタート画面またはスタートメニューより RTR-500W for Windows を起動します。
- RTR-500W 設定ユーティリティを起動します。



- 付属の USB ケーブルでパソコンに親機を接続します。自動で USB ドライバのインストールが始まります。
 - この時点で LAN ケーブル、AC アダプタを接続する必要はありません。
- USB ドライバのインストールが完了すると、RTR-500NW / 500AW にて各種設定をする画面* が自動的に起動します。

* 以後、設定画面と記載します。



上記の設定画面が自動的に表示されない場合

USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[機器を認識しないときは] をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。



使い始める前に

STEP 1 RTR-500NW / 500AW の初期設定をする

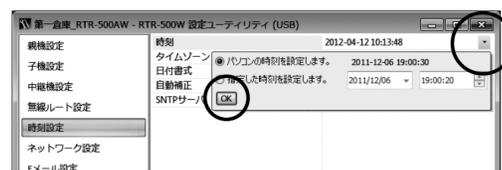
■基本的な設定をする

- 設定画面で [親機設定] をクリックします。
- [親機設定] 画面で次の情報を入力し、[適用] ボタンをクリックします。

親機名	親機を識別するための名前を入力します
LAN パスワード	ネットワーク経由で親機に接続する際のパスワードを入力します。



- 設定画面で [時刻設定] をクリックします。
- [時刻設定] 画面で時刻欄をクリックし、親機の時刻を設定します。入力内容を確認して [適用] ボタンをクリックします。



■ネットワークに関する設定をする

- 設定画面で [ネットワーク設定] をクリックします。
- DHCP の設定をします。通常は設定を変更する必要はありません。社内ネットワークなどのように IP アドレスを固定して利用したい場合は、[DHCP] を [OFF] にして IP アドレス等を設定します。
- (RTR-500AW のみ) ご利用の無線 LAN アクセスポイントの設定値にあわせて設定します。

* RTR-500AW の MAC アドレスは [設定一覧] - [親機設定] - [MAC アドレス] で確認することができます。



- [適用] ボタンをクリックします。

■現在値モニタを利用する設定をする

- 設定画面で [警報 / モニタリング設定] をクリックします。
- [警報 / モニタリング設定] 画面で次の情報を入力します。

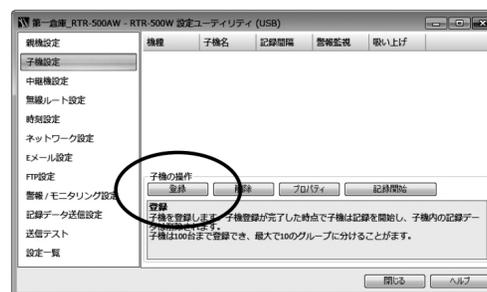
モニタリング	[ON] を選択します
モニタリング間隔*	測定値をモニタリングする間隔を選択します

* モニタリング間隔は、子機の記録間隔以上の値を指定してください。(子機の記録間隔が 10 分の場合、モニタリング間隔は 10 分以上を指定してください。)

- 入力内容を確認して [適用] ボタンをクリックします。

STEP 2 子機登録をする

- 設定画面で [子機設定] をクリックします。手元に子機を準備し [登録] ボタンをクリックします。



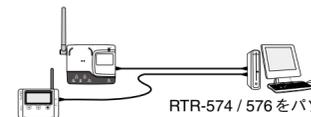
- 画面の指示に従って子機を RTR-500NW / 500AW に接続します。

RTR-501 / 502 / 503 / 505 / 507S



子機を RTR-500NW / 500AW にのせます。
* 光通信部を下向きにし、親機的光通信部と合わせるようにしてのせてください。

RTR-574 / 576



RTR-574 / 576 をパソコンと USB 接続します。

TR-574 / 576 を接続しても画面が変わらない場合

USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[ヘルプとサポート] - [機器を認識しないときは] をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。

- [子機登録] 画面で次の情報を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

子機名	子機を識別するための名前を入力します
周波数チャンネル	親機・子機間の無線通信に使用する周波数チャンネルを選択します 親機を複数台設置する場合は、親機同士の無線通信が干渉するのを防ぐため、チャンネルを離して設定してください。
記録間隔	記録間隔を選択します

記録間隔と記録可能時間の例

	1 秒	30 秒	15 分	60 分
RTR-501 / 502 / 505	約 4 時間 26 分	約 5 日 13 時間	約 166 日 16 時間	約 1 年 10 ヶ月
RTR-503 / 507S / 574 / 576	約 2 時間 13 分	約 2 日 18 時間	約 63 日 8 時間	約 11 ヶ月

RTR-501 / 502 / 505 (データ記録容量 16,000 個)
例: 記録間隔 30 秒 × データ数 16,000 個 = 480,000 秒 (約 5 日 13 時間)
RTR-503 / 507S / 574 / 576 (データ記録容量 8,000 個)
例: 記録間隔 30 秒 × データ数 8,000 個 = 240,000 秒 (約 2 日 18 時間)

* 記録データが上限に達すると、1 番古いデータから上書きし、記録を続けます。



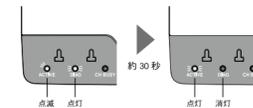
- 子機登録が完了すると、子機は記録を開始します。複数の子機を登録する場合は、手順 1. から繰り返してください。

子機の登録内容は後から変更できます。登録内容の変更方法、設定項目の詳細については、スタートメニューの [ヘルプとサポート] - [操作ガイド] - [便利な機能] をご覧ください。

STEP 3 設置をする

親機をパソコンに接続している場合は、USB ケーブルを外してください。

- (RTR-500NW のみ) 親機に LAN ケーブルを接続します。
- 親機に付属の AC アダプタを接続します。



DIAG LED が点灯・点滅し続ける場合は設定に不備があります。詳しくは裏面の [Tips LED の表示について] をご覧ください。

- 電波強度を確認しながら子機を設置します。伝送距離は障害物のない見通しのよい直線距離で約 150m です。

電波強度を確認する方法は、裏面の [Tips 電波強度の確認方法] をご覧ください。
中継機を増設することで障害物を迂回したり、伝送距離を延ばすことができます。詳しくは、[操作ガイド] - [便利な機能] をご覧ください。

使ってみよう

STEP 1 現在値を表示する

1. [現在値モニタ]を起動します。



2. [設定] - [現在値取得設定]をクリックし、現在値取得設定ウィンドウを表示します。



3. しばらくすると「使い始める前に」の①で設定した親機が表示されます。



RTR-500NW / 500AW は同一ネットワーク内に接続されている必要があります。上図のようなリストが表示されない場合は [操作ガイド] - [困ったときは] - [設定に関する Q&A] をご覧ください。

[Windows セキュリティの重要な警告] ウィンドウが表示される場合

"アクセスを許可する"または"ブロックを解除する"を選択してください。



4. 接続対象の親機をダブルクリックして、設定ウィンドウを開きます。[現在値を取得する]にチェックし、「使い始める前に」の①で設定した LAN パスワードを入力します。最後に [OK] ボタンをクリックします。



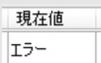
5. [現在値モニタ] ウィンドウに現在値が表示されます。



- 現在値が表示されるまで最大 1 分かかります。
- [エラー] と表示される場合は [Tips] 電波強度を確認する] をご覧ください。

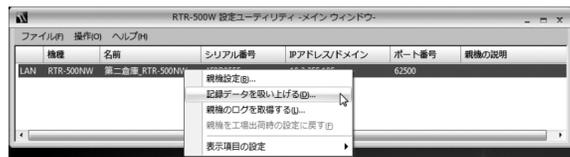
表示間隔を変更する場合

表面の「使い始める前に」の②の [現在値モニタ] を利用する設定をすることを。ご覧ください。

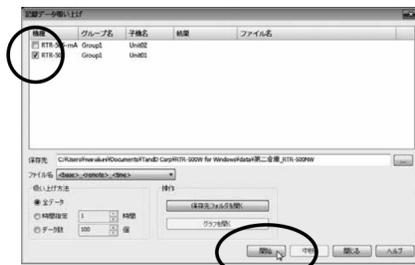


STEP 2 記録データを手動で吸い上げる

- RTR-500W 設定ユーティリティを起動します。
- [操作] メニューから [ネットワーク検索] をクリックします。しばらくすると「使い始める前に」の①で設定した親機が表示されます。
- 接続対象の親機を右クリックし、ポップアップメニューより [記録データ吸い上げ] を選択します。LAN パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。



4. [記録データ吸い上げ] ウィンドウが表示されます。吸い上げ対象の子機にチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックします。吸い上げが開始されます。



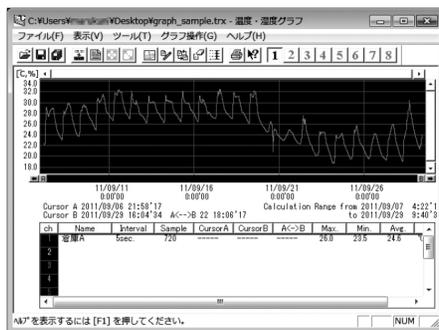
5. [保存先] で指定したフォルダに記録データのファイルが作成されます。

RTR-500NW / 500AW は自動で記録データを収集することができます。設定方法は [操作ガイド] - [RTR-500NW / 500AW でできること] - [記録データを送信する] をご覧ください。

STEP 3 記録データを表示する

記録データを表示する

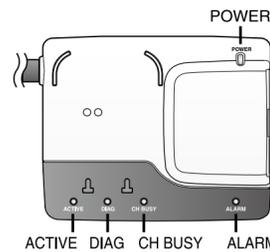
- 記録データのファイルをダブルクリックします。
- 温度・湿度グラフまたはマルチスケールグラフが起動し、グラフが表示されます。



記録データを印刷する

- 記録データをグラフで開きます。
- グラフウィンドウのサイズを変更して、グラフ表示の縦横比を調整します。
- [ファイル] メニューより [印刷プレビュー] を選択します。印刷イメージを確認します。必要に応じて手順 2. に戻り、グラフの縦横比を変更します。
- [印刷] ボタンをクリックして印刷を開始します。

Tips LED 表示について



LED の状態	説明
●点灯 ●点滅 ○消灯	ACTIVE
●点灯	ACTIVE
●点滅	ACTIVE
○消灯	DIAG
●点灯 ●点滅	ACTIVE DIAG
●点灯 ●点滅	ACTIVE DIAG
●点灯	CH BUSY
●点灯	ALARM

RTR-500NW / 500AW の初期設定値

親機名	RTR-500NW_<シリアル番号> または RTR-500AW_<シリアル番号>
LAN パスワード	password
ネットワーク設定	DHCP: ON
通信ポート番号	62500

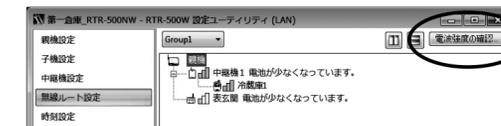
Tips 電波強度の確認方法

親機と子機間の電波強度を確認することができます。

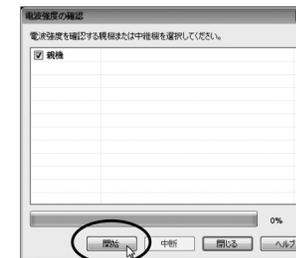
- RTR-500W 設定ユーティリティを起動します。
- [操作] メニューの [ネットワーク検索] をクリックします。しばらくすると「使い始める前に」の①で設定した親機が表示されます。
- 接続対象の親機を右クリックして、ポップアップメニューより [親機設定] を選択します。LAN パスワードを入力して [OK] をクリックします。



4. [無線ルート設定] を開き、[電波強度の確認] をクリックします。



5. [開始] をクリックすると電波強度の確認を開始します。完了したら [閉じる] をクリックします。結果が表示されます。



電波強度確認結果の見方

	通信が可能です。
	通信が安定しない可能性があります。エラーが頻発する場合は、子機の設置位置を変更するか、中継機を追加してください。
	アンテナのマークが何も表示されないのは通信エラーです。上記と同様に、子機の設置位置を変更するか、中継機を追加してください。

困ったとき・詳細情報は



- 基本ガイド:** 本書を PDF ファイルで記載しています。
- 操作ガイド:** 画面・イラストを使ったわかりやすい解決策や、よくある質問など、本書に記載されていない詳しい操作方法を記載しています。
- 機器を認識しないときは:** 「使い始める前に」の②で子機を接続しても画面が変わらない場合の USB デバイスドライバのインストール、確認方法を詳しく記載しています。
- アップデート情報:** ソフトウェアとファームウェアのアップデート情報を確認できます。
- ユーザ登録・サポート:** 弊社 Web サイトが開き、ユーザ登録やサポートを受けることができます。